



一般社団法人笑い文字普及協会

初級講師 只野玲子さん

「笑い文字をきっかけに
笑顔が広がってほしい」

「ありがとう——身近な言葉だが、面と向かって言うとは照れくさい。そんな言葉を大切にし、文字と笑顔で表現する人がいる。「文字の中に満面の笑顔が入っていることで、感謝の気持ちに笑顔添えて伝えることができる」。そう話すのは保育士として働きながら笑い文字普及協会で講師を務める只野玲子さん。

笑い文字普及協会では、「書いて半分、渡して完成」「感謝と喜びの循環」を目指している。大切な方を想いながら感謝の気持ちを込めて書き、渡して、笑い文字は完成する。

笑い文字で最初に習うのは「ありがとう」の言葉。「多くの方に笑い文字をお伝えし、たくさんの方に書けるようになってほしい。そして書いて渡していくことで、幸せを巡らせてほしい」と想いを話す。

只野さんの初級講座に親子で受講した小学4年生の男の子が「お母さん、産んでくれてありがとう。おれ、頑張って生まれてきたんだよ」と感謝の想いを伝えあったそう。「ありがとう」を伝える方法として、笑い文字の可能性を実感した。

只野さんは「ありがとう」という言葉が飛び交う社会になってほしいと願い、感謝の気持ちを込めて筆を取る。

Friendship with Canada



カナダ国スーク市との交流

名取市とカナダ国スーク市は、中学生海外派遣事業など、20年以上も相互交流を行っています。

2022年のクリスマスには、スーク市からクリスマスと新年のお祝いの言葉が綴られたメッセージカードとキャンディを送っていただきました。

また、立命館大学永野ゼミが企画した「チューリップで繋ごうカナダと閑上の絆」で、カナダを代表する花の一つであるチューリップが市役所で育てられています。



問 などの魅力創生課国際交流・広報係 ☎724-7143